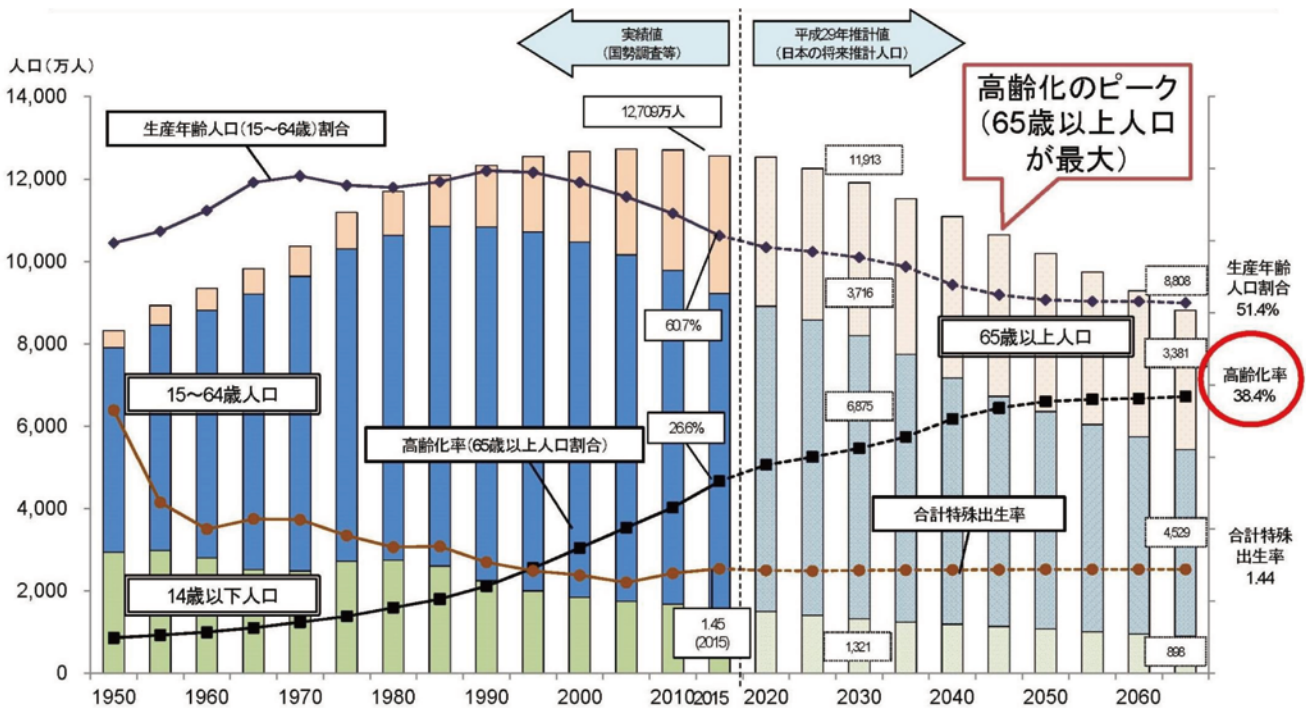


1 人口減少、人口構成の変化

わが国の総人口は、戦後増加を続けていましたが、平成20(2008)年の1億2,808万人をピークに減少に転じ、平成30(2018)年現在、1億2,644万人に至っています。国立社会保障・人口問題研究所の将来推計(出生中位(死亡中位)推計)によると、総人口は令和47(2065)年には約8,808万人にまで減少することが予測されています。

また、わが国では少子高齢化の進行が著しく、平成27(2015)年国勢調査では年少人口(0~14歳人口)が12.6%、生産年齢人口(15~64歳人口)が60.7%、老年人口(65歳以上人口)が26.6%となっています。この少子高齢化の傾向は今後も続き、令和47(2065)年には、年少人口が10.2%、生産年齢人口が51.4%、老年人口が38.4%になるものと推計されています。



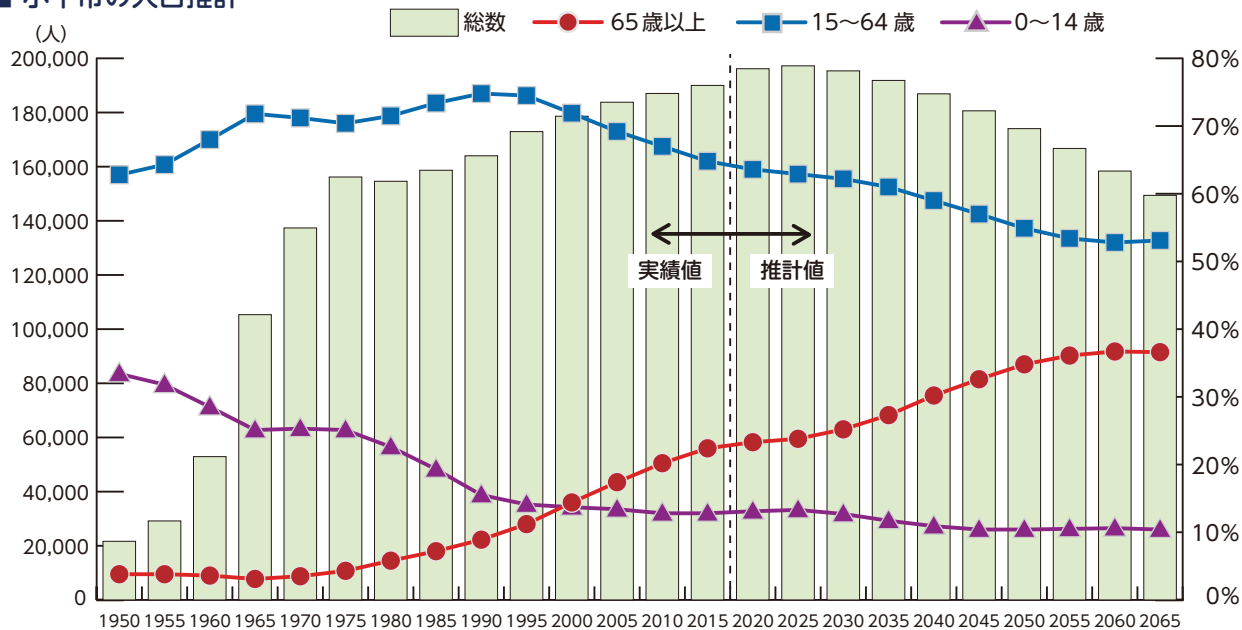
資料:第1回社会保障審議会年金部会 年金財政における経済前提に関する専門委員会

こうした傾向は小平市も同様で、総人口は令和7(2025)年をピークに減少に転じ、市制施行100周年を迎える2060年代には、14万人台になると推計されています。

人口構成も大きく変わることが推計されています。小平市の人口構成の変化を示すグラフを見ると、第2次ベビーブーム期(昭和46(1971)年~昭和49(1974)年)の昭和46(1971)年では、底辺が広い三角形をしています。第2次ベビーブーム世代が70歳を超える令和22(2040)年には、重心が上方にきています。令和47(2065)年には全体的に細くなっていくことが示されています。

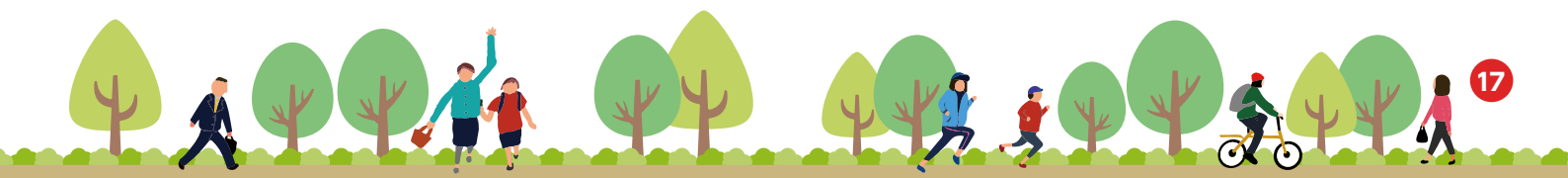
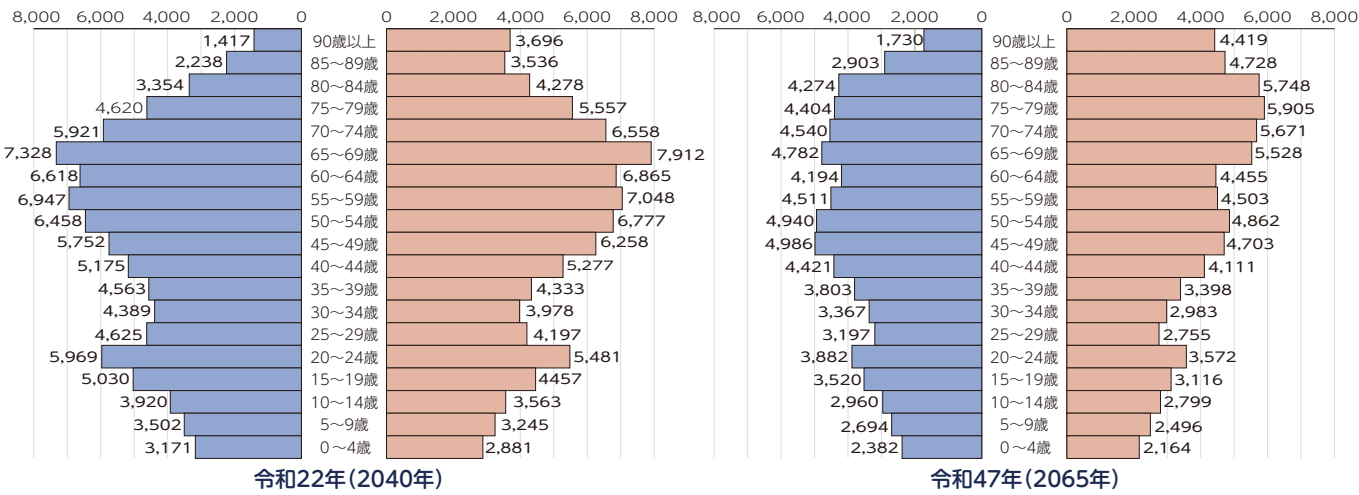
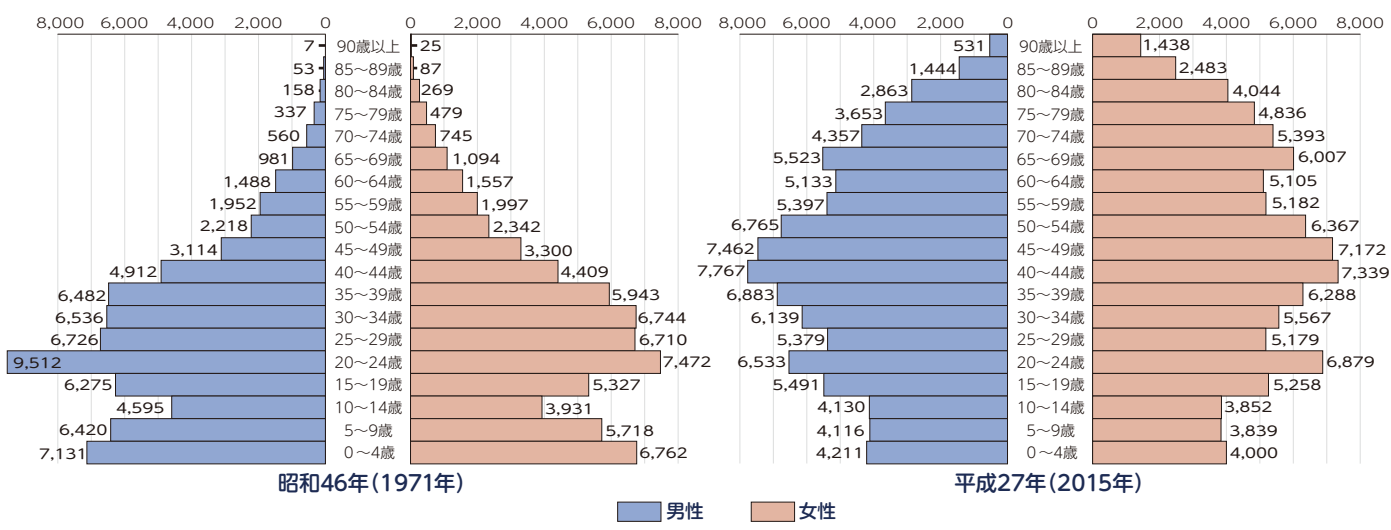


■ 小平市の人口推計



資料: 国勢調査、小平市人口推計報告書補足版(令和元年8月)

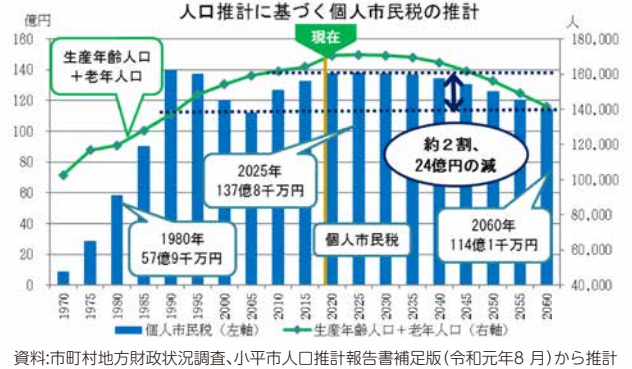
■ 小平市の人口構成の変化



2 経済財政状況の変化

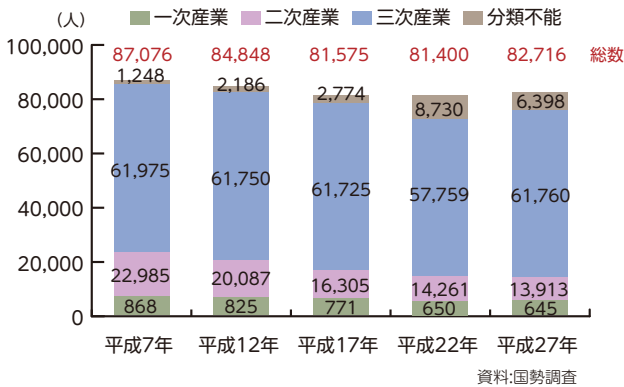
小平市の歳入の根幹である市税の約45%を占める個人市民税は、景気のほか、人口や住民の年齢層に大きく左右されます。今後の生産年齢人口と老年人口を合算した伸び率に合わせた個人市民税の推計によると、令和7(2025)年度から令和42(2060)年度までの35年間で、24億円減少することが見込まれます。

■ 小平市の市税の推移

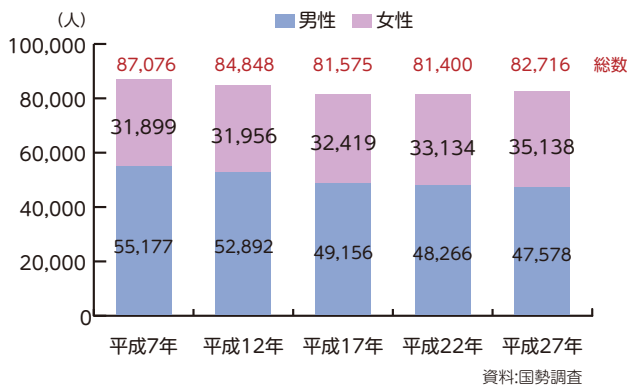


小平市民の約75%は第三次産業に就業しているとともに、近年では、女性の就業者数が増加しています。総務省の労働力調査によると、生産年齢人口における女性の就業率は、男女雇用機会均等法が施行された昭和61(1986)年は53.1%でしたが、平成28(2016)年は66.0%と、最近30年の間に約13%上昇していることが報告されています。

■ 小平市の産業別就業者数の推移

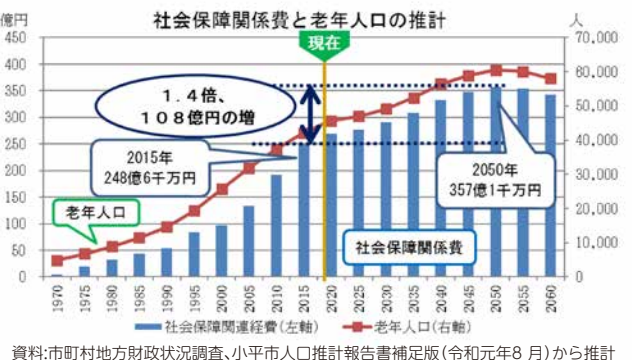


■ 小平市の男女別就業者数の推移



扶助費*に国民健康保険事業特別会計*等への繰出金*を加えた社会保障関係費は、平成27(2015)年度には248億円でした。今後の老年人口の推計の伸び率に合わせて社会保障関係費を推計すると、ピーク時の令和32(2050)年度には357億円と見込まれます。金額で108億円の増、率で1.4倍となり、歳出予算に占める割合もさらに大きくなります。

■ 小平市の社会保障関係費の推移



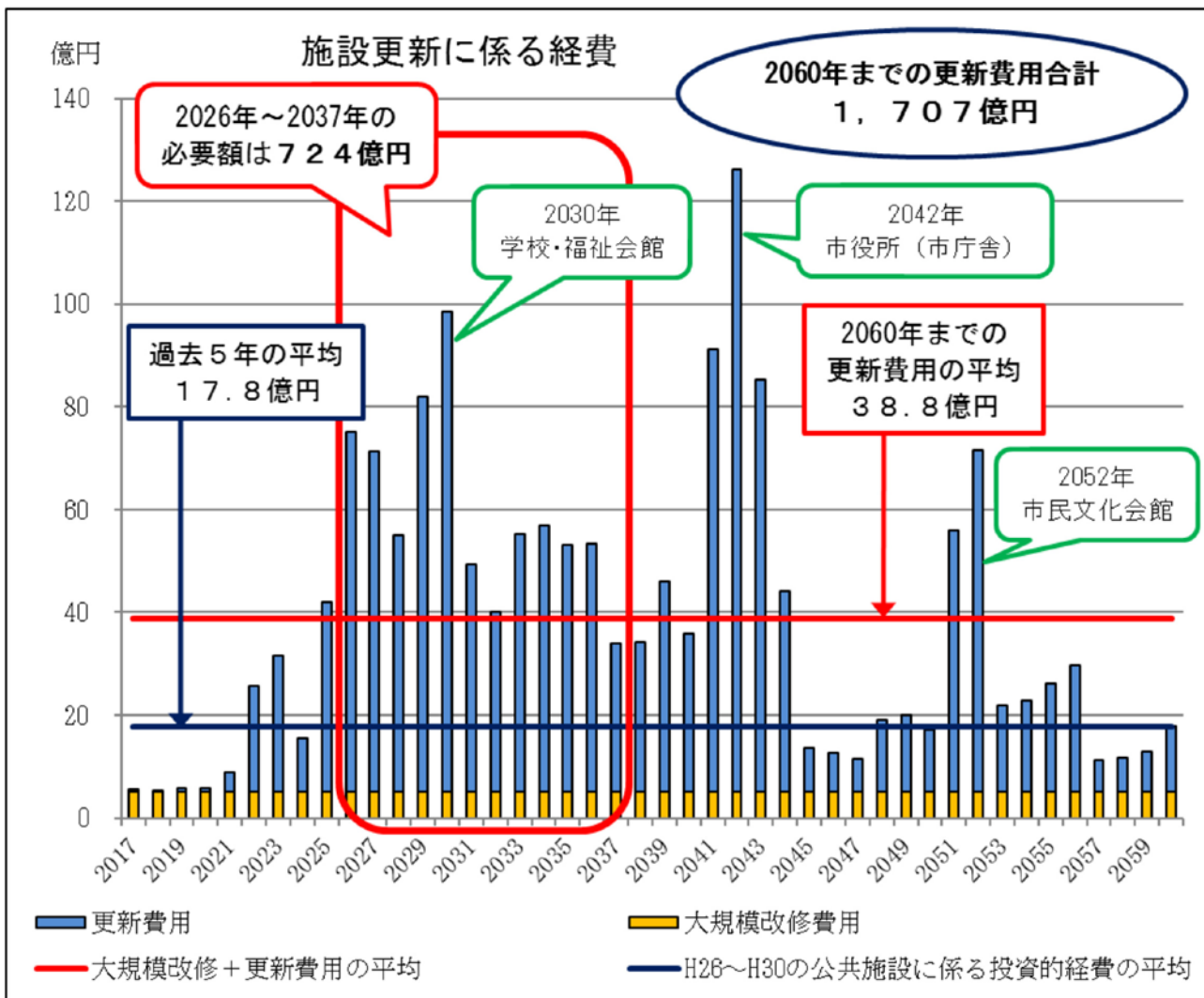
3 公共施設の老朽化に伴う更新ピーク到来

全国的に公共施設の老朽化対策が大きな課題となっています。過去に建設された公共施設がこれから大量に更新時期を迎えますが、地方自治体の財政は厳しい状況が続きます。また、人口減少、少子高齢化等により今後の公共施設の利用需要が変化していくことが見込まれます。こうした中、公共施設の一元管理と中長期的な維持管理、更新等を見据えた施設の管理運営、更には既存ストックの合理的な利活用も含めたマネジメントの推進が求められています。

小平市においても、急激に人口が増加した1960年代から1970年代にかけて公共施設を集中的に整備し、1980年代以降も市役所や市民文化会館など大規模な施設を建設しました。これらの多くの建物が更新時期を迎えます。仮に、これまで保有してきた公共施設を全て同じように更新する場合の令和42(2060)年までの更新費用の合計は1,707億円にのぼると推計されており、現実的には極めて困難です。

これらのことを踏まえ、平成27(2015)年に策定した「小平市公共施設マネジメント基本方針」に掲げる「いつまでもわくわくする場をみんなで創ろう」という基本理念のもと、持続可能な施設総量の見直しとサービスの最適化、量の最適化、コストの最適化、性能の最適化に向けて取り組んでいく必要があります。

■ 小平市の公共施設の更新に係る経費



資料:小平市公共施設データ集、市町村地方財政状況調査

